

京都府環境審議会自然・鳥獣保護部会の議事概要（令和5年5月16日）

1. 開催日時 令和5年5月16日（火曜日） 午前10時から12時まで
2. 開催形式 オンライン開催
3. 出席者

【部会委員】

細谷部会長、黒田委員、高柳委員、深町委員、牧委員、増田委員、松尾委員、森井委員

【特別委員】

田中代理（出倉特別委員）坂口代理、岡島代理（関根特別委員）、氏橋特別委員、
細見代理（渡辺特別委員）

【事務局】

松山技監、後藤自然環境保全課長、その他自然環境保全課員

4. 議題及び審議結果

（1） 京都府生物多様性地域戦略の中間見直し等について

（審議結果）

- ・委員意見を反映させた上でパブリックコメントを行うことについて、部会長と事務局に一任された。

（委員意見等）

- ・行動計画の項目を増やすのは良いが、従前から実施している希少種対策などの施策がおざなりにならないようにお願いしたい。
- ・文化庁との連携については、文化の観点だけでなく天然記念物に指定されている動植物等の保全の観点でも記載いただきたい。

（2） 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例に基づく府保全回復事業計画の策定について

（審議結果）

- ・委員意見を踏まえた文言の修正を行った上で知事へ答申することについて、部会長と事務局に一任された。

（委員意見等）

- ・キブネダイオウの計画について、外来種との交雑が絶滅の危機に瀕している主な要因であることを記載した方が良いのではないか。また、外来種対策が調査及び情報蓄積だけでは不十分ではないか。
- ・トモエソウの計画について、個体群の維持に影響を及ぼす要因としてシカの食害に係る記載がある。農産物対策だけでなく希少種の保全の観点でもシカの対策を進める必要がある。
- ・植物については、園芸目的での盗掘採取がある。種の保存法の国内希少野生動植物種の制度も参考にしながら希少種の保全を進めていくと良い。